

絹織物(ゆめおーれ勝山(力織機))

勝山の絹織物の発展に、深い関係があるのが湿度、そして河川と雪だ。

乾燥すると切れやすい絹の糸だが、高い湿度が高品質の羽二重生産に優位に働いたのだ。

また北陸地方は冬に雨ではなく雪が降る。冬に降った雪は、雪解けによって徐々に河川へと流れていく。このような河川は、年間を通じて比較的流量が安定しており、水力発電に向いている。

滝波川にあった中尾発電所は、福井県で2番目につくられた水力発電所である。このおかげで、勝山の織物業は、明治時代のおわりごろの較的早い段階から機械化することができ、中心的産業として発展した。



産業を振り返る

越前甲からの風景(野向町)

トレッキングやスノーシューなどのアクティビティで、見晴らしのよい所まで行くと普段と違った角度から勝山の町を眺めることができる。そこから見られる山も谷も川も平野も地球が長い時間をかけて作り上げた「作品」だ。

その地球の作品を人々が利用してきた。山の上に城を築いたり、平野で農耕を行ったり、川で釣りをしたり。

ジオパーク眼鏡を通すと人と地球のつながりがよく分かる。



風景を楽しむ

ジオパーク 大地の博物館の楽しみ方を ジオパーク眼鏡で見てみよう!!

自然を楽しむ



谷のブナ林(北谷町谷区)

谷集落の裏山に位置する谷のブナ林は豊かな生態系を育む森であると同時に、雪深い山間地域で暮らすための大きな役割が隠れている。冬には積雪が2メートルにも達するこの集落にあるブナ林は、なだれの発生を防いだり、勢いを弱めたりするための保安林として、伐採が禁止され、大切に守られてきたのだ。

大地の博物館は四季折々、さまざまな姿を見せてくれる。別の季節に訪れて、その四季の変化を感じるのもジオパークの楽しみ方の一つだ。

大矢谷白山神社の巨大岩塊(平泉寺町大矢谷区)

巨大な岩が横たわるある意味「異様な」光景を見ることができるのがこの場所だ。写真で見ただけでも大きさが伝わるかもしれないが、実際に訪れてみると、より迫力を感じられるだろう。そして、多くの人がなぜここに大岩?という疑問を持つだろう。その答えをくれるのがジオパーク。この大岩もかつての大地の活動がもたらした産物なのだ。

この場所からは平安時代の須恵器が見つかっており、昔の人々もこの大きな岩を不思議に思い、祭礼を行っていたことがうかがい知ることができる。



景観を楽しむ

食を楽しむ



勝山水菜(北市区、村岡町郡区)

地域の伝統食材や伝統食は、その地域の気候や土壌に適応したものだ。その気候や土壌を形作ったのは、紛れもなく大地の活動なのだ。

このような文化の多様性の背景にも大地の活動がある。文化の多様性を守って次世代へ引き継いで行くことも大地の博物館の重要な活動だ。

自然観察会は、ジオパークの楽しさを知る絶好の機会です。ぜひご参加ください。

商工文化課 原 課長補佐

大師山自然観察会
初夏に咲く花々にであおう
6月3日(土)午前9時15分～午後0時30分 市民交流センター前駐車場集合 園わくわく体験学習推進隊 20人(先着順) 費300円 5月26日(金) 登山登りのできる服装、タオル、水筒、雨具
申・問 猪野瀬まちづくり会館 88-0313

平泉寺菩提林の 自然を観察しよう
ヤマドリゼンマイとブナの観察
5月27日(土)午前9時30分～11時30分(午前9時受付開始) 所菩提林入口駐車場集合 園わくわく体験学習推進隊 25人(先着順) 費無料 5月26日(金)
申・問 商工文化課 88-8126

自然観察会のご案内